

『不動産ファンドフォーラム2019イン仙台』

2019年11月22日(金) 会場:仙台商工会議所

不動産を証券化
投資呼び込み

仙台でフォーラム

仙台市の不動産、金融関係者が集まるアセットブレインズ仙台ネットワークは、「不動産ファンドフォーラム2019イン仙台」を青葉区の仙台商工会議所

で開いた。都心部のビル再開発に注目が集まる中、不動産を証券化して投資を呼び込む方策を探った。

フォーラムは22日に開催し、約150人が来場。官民ファンド「環境不動産普及促進機構」(東京)の朝日隆博事務局次長は、ビルの耐震補強や建て替えに向

けた特別目的会社(SPC)への融資制度を紹介し「民間出資額と同額を融資し、事業の早期着手を促す」と述べた。

国土交通省不動産投資市場整備室の浪越祐介室長は、遊休不動産活用のため地元企業などによるSPCの設立が増加傾向にあることを示した。浪越室長は「小規模の空き家対策にもつな

がる」と意義を語った。ネットワークによると、不動産投資信託「J-REIT」の東北の取引金額は今年9月現在で前年並みの400億円規模。宮城大事業構想学部の田辺信之教授(経営学)は、不動産市場と密接に関わる世界の金融市場を注視するよう促した。



ビルの耐震性や環境性を高めるための支援策を紹介する朝日氏